

アゼルバイジャンの陸上交通ルート（1）国境税関の所在地

アゼルバイジャンはイラン（本土と飛び地ナヒチバンで）、トルコ（ナヒチバンで）、アルメニア、ジョージア、ロシアと国境を接し、またカスピ海が海上国境となっています。このうち、国交のないアルメニア国境を除き、次の 10 地点に国境税関事務所及び検査所が所在します。

1) イラン国境

①アスタラ、②ビラスワル、③ジュルファ（ナヒチバン）、④シャフタフティ（ナヒチバン）

2) トルコ国境

⑤サダラク（ナヒチバン）

3) ジョージア国境

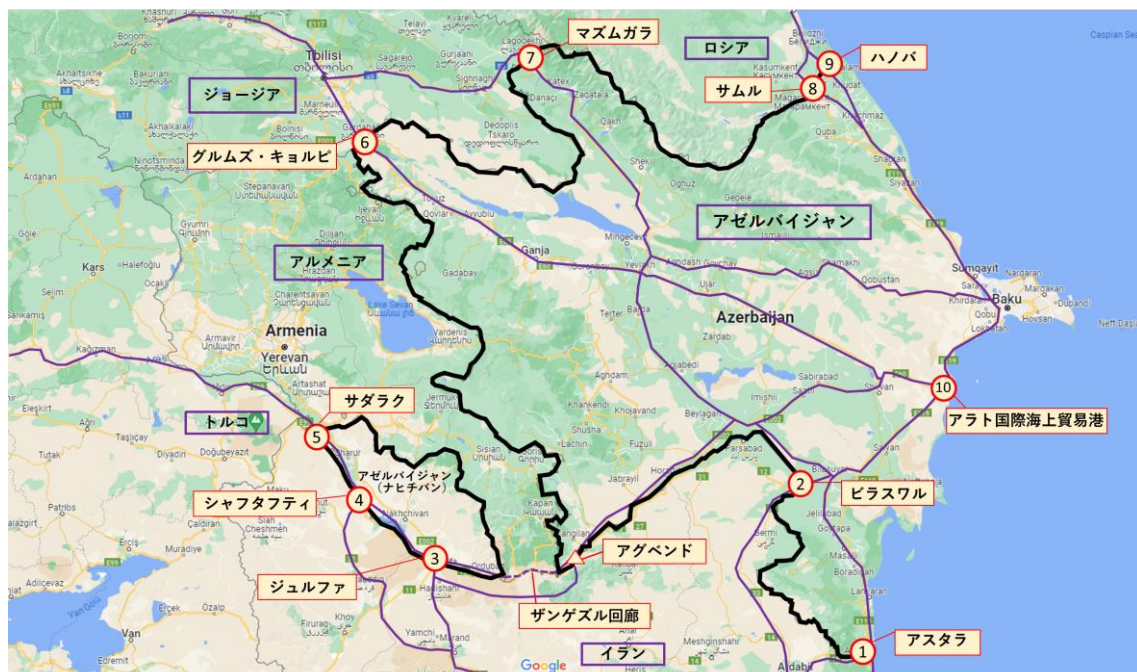
⑥グルムズ・キョルピ、⑦マズムガラ

4) ロシア国境

⑧サムル、⑨ハノバ

5) カスピ海国境

⑩アラト国際海上貿易港



国家税関委員会の下記ポータルでは、リアルタイムで各税関のトラック数（国境へ進行中及び国境到着後通関手続き未了の車両数、通関手続き完了後出口待機中の車両数）が確認できます。数百台のトラックが通関中であるイラン国境①、ジョージア国境⑥⑦、ロシア国境⑧⑨、カスピ海国境⑩が、アゼルバイジャンの東西南北を結ぶ陸上交通の要路である様子が分かります。

また、ナヒチバンのトルコ国境⑤を通関するトラック数も3百数十台と多く、トルコからナヒチバン、さらにアゼルバイジャン本土に至る物流の将来性が窺われます。

（参考） Number of freight vehicles at the border: live queue

<https://e.customs.gov.az/for-individuals/live-queue>

（以上）